

Library News

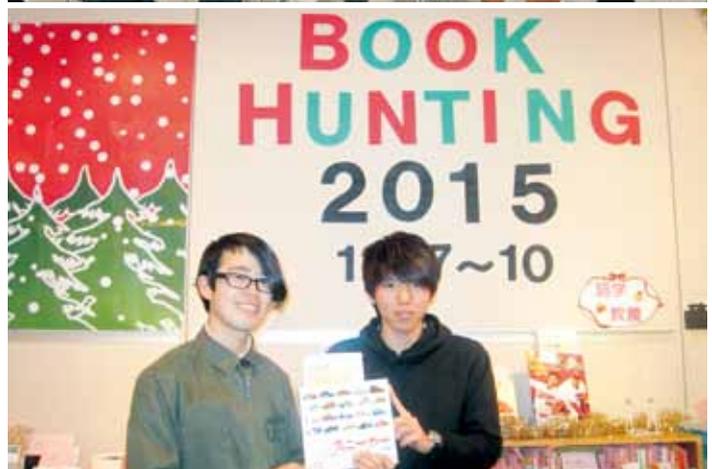
ライブラリーニュース

Vol.23 No.4

広島修道大学図書館

●特集

素敵な本との 出会い方



Contents

- 2 巻頭エッセイ
著者と会う
.....西村 仁志
- 3 図書館職員リレーエッセイ(79)
特別な1冊を共有
.....増田 文子
- 4 特集
素敵な本との出会い方
- 6 ピアナンデス! / ピア系男子
- 7 短期連載第3回
あなたの知らない図書館の世界
— 管理業務編 —
- 8 こんな本がやってきました (No.40)
『虫から始まる文明論』
Library Information
資料の移設について

著者と会う

人間環境学部教授
西村 仁志



本との出会いはたくさんある。図書館に行くとき、それこそ数多の本との出会いが待っている。しかしそれらを書いた人＝著者と出会うというチャンスはそう多くはないだろう。もちろん本は、直接は出会うことができない人、つまり故人の方や遠く過ぎた時代を生きた人々とも本を通じて出会うという利点がある。この利点を否定するものではないが、いま、自分自身と同じ時代を生きている著者とは、直接出会うことができる。本そのものを読み、それを書いた本人とも出会い、さらに話を聴くことができる。これは得難い体験だ。

新しい本が出版されると、それにかこつけて出版社、大手書店、関係者によって講演会、トークイベントが催されたりする。こうした機会は一種のセールスプロモーションでもあり、もっとも敷居が低い。有名な作家や研究者、芸術家など、著者のリアルな姿を直接見ることができ、肉声を聴くことができる。本を読んでイメージしていた人物像から「あ、こんな人だったんだ」とギャップがあったりすることも面白い。本の執筆にかかわる裏話、秘話など「本には書けない話」が語られることもある。さらに引き続いてサイン会があったりもして「雲の上」や「憧れ」「別世界」の存在である著者と対面できる夢のようなチャンスだ。

仕事柄、これまでも多くの「著者」の方々と出会ってきたが、私にとっての大切な出会いは写真家の星野道夫さんだ。彼は慶応大学の在学中に初めてアラスカに渡り、その過酷な大自然のなかに生きる動物たちや先住民たちの姿に魅了される。大学卒業後は動物写真家のアシスタントとして修業を積み、その後アラスカ大学への留学を果たして、それ以来アラスカに住み、大自然のなかで撮影を行ってこられた。写真集のほか、随筆、紀行、写真絵本など数々の本を出版されている。私もそのファンとしてそれらを手に取ってきたのだった。

いまからもう20年前の1996年1月、その星野さんが京都で写真展とトークイベントを行われるにあたり、ご縁があって一連の行事の企画運営に関らせていただいたのだった。期間中、星野さんが滞在されていた2週間のあいだ、私もスタッフとして写真展やトークイベントの設営、受付などを手伝い、一緒に食事に行くなど星野さんの「人

となり」に接しさせていただいた。厳冬期のアラスカの撮影を単独でこなし、躍動する野生動物たちをファインダーにとらえてきた実際の星野さんは、穏和で木訥（ぼくとつ）、それでいて静かなる情熱を秘めた方だった。しかし「いつか、アラスカに来てください。」との言葉に、再び一緒させていただけることを楽しみにしていた矢先、星野さんは同年の8月にロシア・カムチャツカでの撮影旅行中に事故で亡くなられたのだった。

星野さんの早すぎる死は、私自身にとって「人の一生の意味とは何か」、そして「いかに生きるか」ということを問いかけるものであったし、また彼が遺した数々の出版物の写真や文章を通じて、自分自身にとっての身近な自然、そして遙か彼方に広がる、心をとらえて離さない大自然について、その後なおいっそう考えさせられることになったのだった。彼と同じ時代を生きることが出来たこと、そして「本」を縁にして、別の二つの人生がしばし併走することができたこと。20年あまりの年月を経て、いまでも私にとってかけがえのないものとなっている。

残念ながら星野さんとは、いまからもう出会うことはできない。しかし彼の写真集と著作は、この大学図書館にも数々収蔵されている。みなさんにはぜひ手にとっていただき、星野さんの見たアラスカの大自然に、そして星野さんがそこで思索を深めて書いた珠玉の文章に出会っていただきたい。

(ニシムラ ヒトシ 人間環境学部教授)



「アラスカ 風のような物語」
所 在:3階一般図書
請求記号:295.39/H92
小学館:1999(小学館文庫)



「旅をする木」
所 在:3階一般図書
請求記号:295.39/H92
文藝春秋:1999(文春文庫)



「森と氷河と鯨」
所 在:3階一般図書
請求記号:295.39/H92
世界文化社:1996

特別な1冊を共有

増田 文子

「ビブリオバトル」をご存知ですか？バトラーと呼ばれる発表者（以下、バトラー）が好きな本を持ち寄って一人5分間で紹介し、「どの本が一番読みたくなかったか」を基準とした、参加者全員による投票でチャンプ本を決める書評のゲームです。本学図書館ではこれまでに、ビブリオバトルの大学生大会を3回、高校生大会を2回、開催してきました。大学の部、高校の部共に、全国大会の前哨戦という位置づけの公式大会です。

ビブリオバトルは、その名の通り勝敗のつくゲーム。大会ともなると、敷居が高く感じられるかもしれませんが、参加者が皆、楽しいと感じられるルール（ディスカッションでは批判的な発言はしないことなど。）が設定されているので、競うことが苦手な方でも、ガードを固めすぎる必要はありません。本学では大会という形で実施してきましたが、形式にこだわる必要はなく、本とタイマーを用意し、人が集まればすぐにでもできます。また、いきなりバトラーにならなくても、まずは観戦者として参加してみてもいいかでしょう。本にも人にも出会えるゲームです。

私自身は図書館職員として大会の運営はもちろん、バトルの司会進行、観戦者として票を投じた経験もあり、ビブリオバトルの良さを体感してきました。もっと沢山の方にビブリオバトルをお伝えしたいと思い、今回は私が感じているビブリオバトルの面白さ・醍醐味についてご紹介したいと思います。

ビブリオバトルの良さは、「人を通して本を知る 本を通して人を知る」というコンセプトにあります。

バトラーは発表の中で、あらずじや登場人物、編著者の紹介をします。発表ではそれら以外に、その本との出会い、選んだ理由、お勧めのポイント、読んで何を感じたのか、などを述べます。これはバトラーの主観に基づいているので、自分の持つ価値観や、これまでの人生、経験を語ることと同義であると思います。コンセプトである「人を通して本を知る、本を通して人を知る」とは、まさにその通りで、バトラーは自分がどのような人間であるのかということ、発表の場で語ることになります。本を介して人に出会える、そこに魅力を感じる反面、自分をさらけ出すことは不安で、とても勇気の要ることであるとも感じていました。

しかし、実際に目にしてきたバトラーたちは、臆することなく、堂々と胸を張り、語っていました。大好きな本に対する情熱、参加者の共感が得られ、読んでみたいと思ってもらえた時の喜びや、楽しくて仕方がないという思いが伝わり、羨ましい気持ちにさえなりました。自分の経験と照らし、涙が出そうになったこともあります。

私自身はこれまでに発表する機会を幾度か見送ってしまいました。それは、自分に勇気がなかったからだと思っています。今回、このページをいただき、よい機会と解して、自分がバトラーとなったと想定し、本を紹介させていただきたいと思っています。

銀色夏生著『そしてまた波音』

この本は、これまで生きてきた中で最も辛かった時に読んだ本です。大学生になり関西での下宿生活が始まった頃、とにかく何をすることも上手くいかず落ち込んでいました。誰かに相談したい、でもすぐ近くに相談のできる親しい人がいない…ということで本に頼ることにし、書店でブラウジング（眺めてみる）をすることにしました。小さくて薄い文庫本が手軽で良い、後は書名を見て何となく直感で…それがこの本との出会いでした。

内容についてはこうご期待、バトラーになった時にご紹介をさせていただくことにいたしますが、私にとつての特別な1冊です。

皆さんにも、きっと特別な1冊があると思います。その特別な1冊を、誰かと共有したいと感じたことはありませんか？「誰にも教えずに、そっと独り占めしたい…。」そんな本もあるかもしれません。でも、もし、「この本の良さを知ってもらいたい」とか、「この本の良さについて語りたい」という思いがあるようでしたら、ビブリオバトルへ参加されることをお勧めします。

まずは手始めに、私とバトルをしてみませんか？

（マスタ フミコ 情報サービス係）



特集 素敵な本との出会い方



展示コーナーの本を見てみよう!

展示コーナーとは?

図書館2階新聞コーナー奥に展示コーナーがあります。年4回、選ばれたテーマに沿って、皆さんに是非読んでもらいたい本を探し出します。普段は書棚の奥にひっそりと埋もれている素敵な本に出会えるチャンスです。

4月 新入生歓迎 はじめの一步♪

新入生の皆さんにむけて、レポート・論文の書き方、学部ごとで参考になる本などが選ばれていました。



6月(一部入替) Peace begins with a smile ~平和は微笑から始まります Mother Teresa~

戦後70年を迎え、ヒロシマの大学生として何ができるのか、考える本に出会えたでしょうか?



ビブリオバトルに参加してみよう!

ビブリオバトルとは?

ビブリオバトルは、パトラーと呼ばれる発表者が1人ずつおすすめ本を紹介し、集まった人たちの投票で「1番読みたくなった本(チャンプ本)」を決めるゲームです。紹介される本のジャンルは決められていないので、よく読むジャンルのおすすめ本だけでなく、普段あまり手に取らないジャンルの本との出会いもあります。また、本を通じて人との出会いも生まれるのがビブリオバトルの特徴です。

全国大学 ビブリオバトルの予選会

本学の図書館では、大学生のためのビブリオバトルの祭典「全国大学ビブリオバトル」の予選会を毎年10月頃に開催しています。今年度は10月22日(木)に開催し、5名のパトラーがおすすめの本を紹介してくれました!



7月 学外ブックハンティング

学外の書店で図書館に置いてほしい本を皆さんに選んでもらいました。



10月 時間列車の旅

~Time travel あなたの知らない時代を旅してみませんか?~

過去の出来事から学び、未来を考えるきっかけになる本を時代ごとに集めました。



参加型ワーク「未来につながる木」育ってます!



10月(一部展示)ノーベル文学賞

ノーベル文学賞受賞者の作品を揃えました。2015年受賞者はスヴェトラナ・アレクシエヴィチでした。



1月(予定) 学内ブックハンティング

12月7日から4日間、図書館M2階展示スペースで実施されました。選ばれた本がいち早く並びます。お楽しみに!!

今大会のパトラーのみなさん

山根 未希さん 人文学部2年

ヤンソン著/山室 静訳
『ムーミン谷の仲間たち』
講談社 1979

[所在・請求記号]
3階一般図書
949.8/J23



松本 一晋さん 法学部3年

伊藤 友宣著
『悩むチカラ：ほんとうのプラス思考』
PHP研究所 2005

今大会のチャンプ本!!

[所在・請求記号]
3階一般図書
159/I89



平本 梨恵さん 人文学部4年

本多 孝好著
『正義のミカタ：I'm a loser』
双葉社 2007

[所在・請求記号]
3階一般図書
913.6/H84



観戦者の皆さんの感想

- 自分では自然に選ばないような本と出会えて楽しかった。
- 同じ本を読んでいる人が、どんな感想を持っているのか知ることができて良かった。

観戦者の皆さんの感想

- 自分が読むことのないジャンルの本にも目を通したいと思った。
- 誰かに紹介された本は自然と読みたくなった。
- 本をたくさん読んでみたくなった。

松木 美緒さん 人文学部4年

袖木 麻子著
『ランチのアッコちゃん』
双葉社 2013

[所在・請求記号]
3階一般図書
913.6/Y99



野村 勝翔さん 法学研究科1年

藤原 新也著
『メメント・モリ：死を想え』
三五館 2008

[所在・請求記号]
3階一般図書
748/F68



ビブリオバトルは大学だけでなく、公共図書館でも開催されています。興味のある方は、ぜひお近くの図書館でも参加してみてください!

12月 特別企画 Happy books サンタの落としもの



どんな本が入っているかは開けてみてのお楽しみ! メッセージをヒントに本を選んでもらう新企画で、2~3冊の本を包装して貸出しました。



図書館では、利用者みなさんに素敵な本との出会いが生まれるよう、様々なイベントを開催しています。イベントの情報はポスターやホームページ等で紹介していますので、日ごろからチェックしてみてください!

ピアナビゲート!

こんにちは!(・ω・)ノ 図書館ピア・サポーターです。
いつも図書館のフロアでサポート活動をしている私たち。
実は、私たちが活動しているのはフロアだけではないんです(*^_^*)
例えば、定期的で開催される「ランチ会」や不定期で開催される「読書会」。ごはんを共にしたり、それぞれの愛読書を紹介し合うことでピア・サポーター同士の交流を深めています。
今回は、そんな私たちの隠された一面をのぞいてみましょう!

私は毎朝コーヒーを淹れて飲んですよ!
もちろんブラックで😊



もぐもぐおいしい...
私たちはコーヒーより紅茶派だな〜



吹奏楽!
テニス!
弓道!
部活、何やってたんだっけ?
バスケット!



にやり
きゃはは
わっはっは



みんなはどんな本が好きかな?



猫が出てくる本が好きなんですよー!

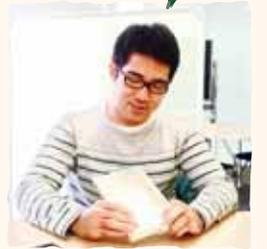


これ、江戸川乱歩の初版本なんだよね〜



え〜!すごいなあ

当時、『ホームレス中学生』流行ってて...



どうですか? 楽しそうでしょう? あなたも一緒に図書館を盛り上げませんか?
現在、次年度のピアを募集中です! 詳しくは図書館HPをご覧ください。

ピア系男子。

十人十色なピア・サポーター。そんな中でも、キラッと輝くピア系男子、
はちやけいすけ 蜂谷啓祐くんを紹介します。



見かけた際には、お声がけくださいね〜

Q. 学部と学年は?

A. 法学部国際政治学科の3年生です。

Q. 趣味は?

A. 読書、サッカー、音楽です。

Q. 所属している団体は?

A. トピアチオールカンボジア支援学生団体「Tveachol」です。

Q. 勉強していることは?

A. 国際協力やカンボジア事情、英語教育、語学です。

Q. 好きな本は?

A. 夏目漱石の『こころ』です。

Q. 好きな食堂メニューは?

A. オムライスです。

Q. アルバイトは?

A. カフェで働いています。

Q. 大学内の好きな場所は?

A. やっぱり図書館ですね〜(笑)



あなたの知らない図書館の世界

◆◆ 管理業務編 ◆◆

図書館のサービスは、大きく2つに分けられます。



資料・情報

図書館サービス

収集

整理

保存

提供

①間接サービス

②直接サービス



利用者



- ①間接サービス (テクニカルサービス) → 利用者への情報提供を間接的に支えるサービス
- ②直接サービス (パブリックサービス) → 利用者と直接やり取りしながら情報を提供するサービス

これまで後者のサービスを中心にお伝えしてきましたが、第3回では、①のサービスに関わる管理業務について紹介します。

その1

資料の収集 (発注)

利用者から購入希望があった図書や図書館職員が収書方針に基づいて選書した図書を各書店に発注します。雑誌の場合は、継続購読するものを1年分まとめて発注しています。

本学図書館の収書方針 (一部)

- ①利用者の資料要求を基本とし、学術的資料を収集する。
- ②長期的の展望に立って広く体系的に収集する。
- ③本学の学部構成、カリキュラムに配慮し、資料を収集する。
- ④個人的な関心や好みに左右されることなく収集する。

その2

資料の整理 (受入)

図書、雑誌ともに、現物の表紙・標題紙・奥付等を見ながら、書誌・所蔵情報を専用のシステムに登録していきます。この時登録した情報がOPACに反映されます。



雑誌『図書館界』の場合

誌名	図書館界
巻次	1947-2015
年次	1947-2015
出版者	日本図書館協会

書誌情報

LIMEHL	4078	LIMEBIB	6082
所在	図書館		
HLYR	1947-2015		
HLV	1-58,60(1-4),61-66,67(1-3)		
CLN	Z010/TOS-001		
請求記号			

所蔵情報

受入継続予定 CONT

配架情報 新着:2階新着雑誌/バックナンバー:1階書庫

その3

資料の保存 (装備)

書誌・所蔵データを登録した後、図書館の資料として管理するために装備をします。

図書…背ラベルとバーコードラベルを貼り、標題紙に蔵書印ラベルを付けます。

雑誌…請求記号を記入し、受付印を押します。

OPACに反映される!

図書館界

日本図書館協会

1947-2015

2019/TOS-001

2015/0004

2010/TOS-001

知っていますか?

図書館必須アイテム!

- 日本十進分類法

図書館の資料を主題により分類する方法のことです。この分類法に基づいて資料に「分類記号」を付与しています。
- 日本目録規則
- コーディングマニュアル

資料を受入しデータを登録する際の規則や方法が記されています。

「日本十進分類法」の中は…

010 図書館 Librarians -- :007 :030

.7 研究・施設誌、図書館季報、職員誌の出版

.77 司書評伝、評伝、評伝

011 図書館政策・行政誌 Library policy and administration

第一巻及び公共図書館に関するものも含める

.1 図書館行政

.2 図書館法今及び沿革

.3 図書館計画

中国語館用記号、国会館用記、C.C.に収める

.38 中央図書館誌、分館誌、配架所

.4 図書館雑誌

本館誌、図書館誌、館誌誌、C.C.に収める

.5 図書館に対する特典：他誌、関連誌及び関連刊行など

.6 図書館交換



こんな本が
やってきました

No.40

『虫から始まる文明論(知のトレッキング叢書)』

奥本大三郎著 集英社

今回は、虫に関する書物を多く執筆し、ファール昆虫記(集英社、1991)の訳者としても知られている著者が、人間の生活や文化とその土地に生息する虫との関係に注目した1冊を紹介します。

子供の頃からいつも虫に親しんできた虫好きな著者は、大人になり、世界中を旅する中で、虫の形や色と、そこで暮らす人々が作り出す建物や衣装の形や色が共通していることに気がきます。表紙の写真は、タイの寺院と「ゴホンツノカブト」という虫です。このカブトムシはタイの甲虫を代表する虫で、その名前のおり角が5本あります。寺院の屋根の形状は、それと類似していることがよくわかります。また、本書では、アフリカのマサイ族の楯の模様とフタオチョウの翅の模様も類似していることなどが紹介されています。

虫は、その土地の土や草花の色に自分を似せて身を守ります。アフリカでは、赤い土や枯れ草の色の虫が多いですし、熱帯では赤や緑、ブルーといった原色の虫が多いです。そして、そこで暮らす人々が作り出す物は、その虫の色や模様を取り入れたものが多いという不思議な関係性の文化が生まれていることが書かれています。

土地とそこに生息する「虫の世界」と「人間の世界」を結ぶ、面白い文明論です。



請求記号：361.5/O 55
所 在：3階一般図書

Library Information

資料の移設について

協創館の建設にともない、以下のように洋図書・洋雑誌を移設しました。

- 新館1階雑誌書庫にあった洋雑誌→協創館1階書庫へ移設
 - 旧館書庫1層にあった洋図書→新館1階雑誌書庫へ移設
- ご不明な点がございましたら、図書館職員までお尋ねください。



開館カレンダー

2016 1 JANUARY							2016 2 FEBRUARY							2016 3 MARCH						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	18	19
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26
24	25	26	27	28	29	30	28	29	27	28	29	30	31							
31	※大学入試センター試験準備のため16:30閉館																			

休館日 (自由閲覧室利用不可)	休館日 (自由閲覧室利用可 8:45 ~ 21:30)	休館日 (自由閲覧室利用可 8:45 ~ 19:00)
--------------------	--------------------------------	--------------------------------

●開館時間

開館時間 8:45 ~ 21:30 自由閲覧室 8:45 ~ 21:30	開館時間 9:15 ~ 16:30 自由閲覧室 ☆8:45 ~ 19:00 自由閲覧室 ★8:45 ~ 21:30	開館時間 10:00 ~ 16:00 自由閲覧室 10:00 ~ 16:00
開館時間 9:15 ~ 12:30 自由閲覧室 8:45 ~ 19:00	開館時間 9:15 ~ 17:30 自由閲覧室 8:45 ~ 21:30	開館時間 10:00 ~ 17:00 自由閲覧室 10:00 ~ 19:00

●休館日

夏季・冬季・春季休暇中の日曜日・「国民の祝日に関する法律」に規定する休日(海の日・成人の日を除く)
開学記念日(11月4日)・年末年始(12月29日~1月3日)・整理休館日・入試期間中

※「国民の祝日」のうち、授業日は開館します。

※開館時間・閉館時間の変更や臨時休館日については、その都度、HPか掲示でお知らせします。



こちら図書館のホームページへアクセスできます

返却期限の過ぎている
図書はありませんか?

忘れないうちに、
窓口かブックポストまで...

発行・編集：広島修道大学図書館

■発行日：2016年1月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1

Tel: 082-830-1112 Fax: 082-830-1964

URL: <http://www-lib.shudo-u.ac.jp>

E-mail: toshos@js.shudo-u.ac.jp

次号は
4月1日
発行予定
です